

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

総務部総務課長 藤井 徹

電話番号

0852-22-5011

事務事業の名称	私立学校経営健全性確保事業	
目的	(1) 対象	私立学校・学校法人
	(2) 意図	私立学校の教育条件の維持向上と経営の健全性を高める。
事業概要	○私立学校振興費補助金・教育活動費補助金 私学の経営の安定を図るため、幼稚園、中学校、高等学校及び専修学校の私立学校を設置する者に対して、私立学校の経常的経費を助成する。 ○日本私立学校振興・共済事業団事務の受託 事業団が行う融資・共済制度を私立学校が迅速・円滑に利用できるよう、事務の委嘱を受託・遂行する。 ○島根県私学教育振興会補助金・島根県私学退職金財団補助金・日本私立学校振興・共済事業団補助金 私立学校を束ねる振興会の事業促進と運営の安定、私学退職金制度・私立学校共済制度の加入促進と運営の安定を確保するため、各種経費・掛金を助成する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	学習指導要領適合率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
			取組目標値					
	式・定義	学習指導要領に適合したカリキュラムを実施している私立中学校・高等学校の割合	実績値	100.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	1,584,919	1,655,388
うち一般財源(千円)	1,353,633	1,427,983

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

全ての私立中学校・高等学校からカリキュラムを提出させ、学習指導要領とのチェックを行っているが、一定水準以上の教育内容が維持されていた。一方、経営状況については、少子化の影響等から園児・生徒数が前年度を下回る園・学校も多く、学校経営は厳しい状況にある。なお、経営改善に取り組む学校を支援するために、その取組に係る経費の一部を補助することとしている。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・公教育の一翼を担う私立学校の運営費充実に係る助成を行うことにより、保護者の学費負担の軽減、教育環境・教育水準の維持向上、学校経営の安定化を図ることができた。
- ・共済事業団の事務を受託することにより、私立学校が利用する融資・共済制度の利便性に寄与することができた。
- ・教育振興会の研修事業や広報事業等の助成を行い、県内の私学教育の振興を図ることができた。
- ・私学退職金制度の健全な発展を図り、私立学校の教育振興と安定的な運営に寄与することができた。
- ・私立学校共済に加入する教職員・学校の長期掛金を助成することにより、私立学校の負担軽減と運営の安定を確保することができた。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

園児・生徒数の減少により、学校経営は厳しい状況にある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

少子化の影響や近年の経済状況の悪化が考えられる。

### ③原因を解消するための「課題」

各学校の経営状況も踏まえて経常的経費補助金を交付する必要がある。経営改善に取り組む学校に対して、引き続きその取組に係る経費の一部を助成する必要がある。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

特に教育改革に係る経費は積極的に支援する。また、今後も全ての私立中学校・高等学校からカリキュラムを提出させ、学習指導要領のチェックを行い、一定水準以上の教育内容が維持されているか検証する。

## 9. 追加評価(任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。